

指定校番号	28010	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立吉島小学校	校長	尼子 博崇	生徒指導主事	西本 由美
-----	-----------	----	-------	--------	-------

**取組事例名 『吉島秋の友だちさんかまつり』**

**取組のねらい『キーワード 関わり合う』**

- ・ 吉島小学校と広島南特別支援学校の児童，また，地域の人たちとふれあい仲良くなることで，相手を思いやる心を育てる。
- ・ お店の計画等を通して児童が主体的に活動できるようにする。
- ・ 集会にみんなで参加し，楽しさを分かち合う。

**取組の具体的内容『キーワード 満たされる』**

・ 児童会が主となり計画・運営をしていく広島南特別支援学校との交流行事。開会式では，両校の1年生が手話で「さんぽ」を歌ったり2年生が「おみこし」で会場を練り歩いたりして会場を盛り上げる。その後，「まつりの広場」では3年から6年の児童が自分の学級でお店を開く。自分たちがアイデアを出し合い，お店を完成させていく中で友だちと触れ合い，自己共有感や達成感を味わっていく。また，自分が開いたお店に参加してくれた人たちが喜び，楽しむ姿を見て自己肯定感を味わったり相手の立場を考える思いやりが育ったりする。当日までの活動を通して自分が必要とされていることを実感し，心が満たされる。



### 取組の課題・創意工夫 『キーワード 時間』

・まつりの時期には修学旅行や、野外活動等が重なるため、十分な時間をとって準備をすることができない。また、児童会運営委員が抱える仕事もたくさんあり、限られた時間の中で準備等を行っていくので例年通りの内容で提案しがちである。各学級においても児童がゆっくりアイデアを出し、失敗をくり返しながら練り上げる時間が十分とれないことから、学級によっては教師主導で行いがちになることがある。

### 取組の成果（効果） 『キーワード 主体性』

・6年生に「ともだちさんかまつりについてのアンケート」を行ったところ下記のような結果となった。

1. ともだちさんかまつりの準備やまつりは楽しかったですか。

とても楽しかった・・・53%      まあ楽しかった・・・44%      あまり楽しくなかった・・・3%

(理由：本番何をやったらいいのか話し合い  
ができていなくて不安だったから)

2. 楽しかった理由は何ですか。

友だちとアイデアを出し合いながら作り上げていったから・・・53%

みんなに楽しんでもらえたから・・・・・・・・・・・・・・・・・・22%

自分たちがやりたいことができたから・・・・・・・・・・・・・・・・17%

自分もたくさん活躍できたから・・・・・・・・・・・・・・・・・・3%

その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5%

児童が主体的にお店の運営にあたり、試行錯誤しながら活動していく過程で、生き生きとした児童の姿が多く見られた。アンケート結果からも児童が主体的に活動できたことへの喜びが感じとられる。また、自分一人が楽しむのではなく、相手を意識した回答が多くあったことは取組のねらいが達成できている現れであると感じる。

### 今後の展開 『キーワード 広がり』

・まつりを通して身についた力が他教科や普段の生活の場面に広がっていくことが期待される。特別活動にとどまらず、普段の授業の中でも児童が思考を組み立てられるよう教師が意識をして授業を構成していきたい。

### 他校へのアドバイス 『キーワード 信じて任せる』

・児童の力を信じて任せてみるのが1番であると考え。「できないであろう。」と最初から決めつけ教師主導で進めていくと児童は考えることをやめ、指示通りに動くだけになってしまう。失敗することも想定し、それを改正していくことができる時間を十分与えられるよう計画性を持って児童を信じ、任せてみるのが大切である。